

今年度で5年目となりました、校長の小柴 憲一 と申します。

昨年度、新型コロナウイルス感染症が感染症法上、二類から五類に移行されてから、次第に社会生活がコロナ禍前の姿に戻り始め、昨年度末の本校の卒業式でも、ついにご来賓・保護者様に加え、1・2年生全員が体育館に入って3年生の卒業を祝うことができるようになりました。

また、地域行事も従前の姿に戻り、様々な地域行事に本校の子どもたちをボランティアとして送り出すことができ、汐入の町に活気が戻ってきたようにも感じます。

公立学校の教員は一定の年限が経つと異動してしまいますが、学校はその地域にいつまでも残り続けます。つまり、「地域があつての学校」と言われる理由はそこにあるのです。保護者様を始めとして地域の皆様のご期待に添えるような学校経営を校長としてはしていかないと考えております。

本校では、中学校3年間で「社会を構成する一員としての自覚を高める」ことを方針の柱としており、日常の学習活動で得た知識や技能、また思考力を生かし、生徒会活動や学校行事において、自治的な活動を活発に行うようにしております。また、地域行事にボランティア活動として参加し、地域行事の運営者の一員となることも積極的に推奨しております。

それらの子どもたちの様子は、このホームページ上でも発信してまいりたいと思いますので、お時間がありましたら閲覧していただけると幸いです。

令和6年4月1日

荒川区立第三中学校長 小柴 憲一

